阪神電車防災通信 No.15

～自然災害に強い沿線づくりを目指して～

沿線のみなさまとともに
2026年度
鉄道非常事態
対応総合訓練を実施



重傷者の救出
消防隊員と協力して




復旧作業を
見守る親子

2026年10月30日(金)阪神電気鉄道(株)では、“**鉄道非常事態対応総合訓練**”を尼崎車庫において実施しました。
本年度は、「踏切道で列車と自動車が衝突」という想定の下、第一部では、尼崎中消防署と**脱線した列車からお客さまを安全かつ確実に救出し避難誘導する合同訓練**を、第二部では、脱線した車両の復線及び鉄道施設の復旧訓練を実施しました。

昨年度に続き、沿線の学校関係者や、自治体関係者のみなさまをはじめ約60名の社外の方々に乗客役として参加いただき、体験を通して**列車が駅間に停車した場合の「避難方法」についてお伝え**しました。

阪神電気鉄道は、1995年の阪神・淡路大震災で被災した企業として、「**自然災害に強い沿線づくり**」を目指し、これからも沿線の皆様とともに取組みを推進してまいります。







これまでの「**阪神電車防災通信**」は
こちらよりご覧ください👇
https://hanshin.box.com/s/fb0itmffcrrz00ph9h40ida3oufkp5jt

防災通信

阪神 安全報告書 検索



こちらからご覧ください。👇
https://www.hanshin.co.jp/safety/report/

阪神安全報告書